令和１年６月 20 日

学校評価委員会　議事録

１．日時　令和１年６月 20 日　12：30～15：20

２．場所　日産愛媛自動車大学校　ミーティングルーム

３．参加者

外部評価委員：
業界団体代表	愛媛県軽自動車協会　専務理事	齋藤 眞一 様
販売会社代表	愛媛日産自動車㈱　ｻｰﾋﾞｽ支援室課長	安野　一己 様
高等学校代表	松山聖陵高等学校　進路指導課長	新田 睦 様
住民代表	前町内会長	塩濱　登 様
卒業生代表	大協車輛㈱　社長	藤坂 定生 様（10 期自動車整備科卒）

学内評価委員：
校　長	分部　庸子	
教育部長	高橋　潔	
工学科科長	西浦　進一	一級自動車工学科担当
整備科科長	小山　純	自動車整備科担当
広報室長	見谷　哲	（代理出席　岡　郁佳）
事務局	松村　正基	

学校評価委員会内容

１）校長挨拶

２）委員紹介

３）校内見学　（授業内容・実習施設等を西浦・小山より説明）

４）学校評価説明・質疑応答

４．学校評価委員会議事

１）定数確認・委員長選出

委員総数 10 名・欠席者見谷に代わり岡が出席し、委員会が成立したことを確認。委員長選任にあたり、学内評価委員より高橋委員を推薦し、全員の賛同により承認。書記係に総務課岡を任命し、全員の賛同により承認。

２）学校評価委員会説明資料（基本情報編）の説明

校長・部長・科長より以下の項目について説明。意見・質問を求める。

① 日産校の理念・ミッション・教育方針

② 日産校の組織

③ 日産校の中期計画

④ 愛媛校の実績

意見：（塩濱）FY19 とは

（分部）フィジカルイヤー、4 月から 3 月の会計年度のことです。一方、1 月から 12 月でとる年度を CY、カレンダーイヤーと対照的に呼んでいます。

3） 自己点検・自己評価報告書の説明

学内評価委員より以下の基準項目について説明。各項目ごとに意見・質問を求める。

【基準 1　教育理念】

教育理念・目的・育成人材像は日産学園全体としての教育を展開しているので特に問題はないと考えている。メーカー校として、変化する業界のニーズにいち早く応えていくために、常に将来を見越した人材の育成構想を描いている。

教育理念・教育方針は 5 校共通であり、適切に実行している。

意見：特になし

【基準 2　学校運営】

運営方針・事業計画は、中期、年度と策定され、教職員に展開・周知される。

組織は、体系だって構成されており、運営するための仕組みは、“意思決定の規定”“人事規定・賃金規定”“コンプライアンス規定”等、既に整備され運用されている。

一方、時代・環境の変化から、採用、人事、評価等の仕組みの見直しも求められており、順次対応していく。

業務の効率化のため、情報システムは既に導入されているが、新しいツールの登場とともに、今後さらに改善を進めていく。特に学生に対する教育情報などの提供が挙げられる。

意見：特になし

【基準 3　教育活動】

教育理念・方針に沿って教育課程は編成されている。具体的には、国家資格や業界のニーズを踏まえた、具体的必要要件を積み上げ、カリキュラムを組み上げて、展開している。

年々、授業は現在の実施状況の評価や、国家資格の要件、企業ニーズの変化により見直ししている。より、実践的な知識・技術を習得するために、キャリア教育の充実や、インターンシップなどの推進にも力を入れている。しかし、学生の社会人としてのモチベーションの醸成はまだ十分とは言えず、今後の課題である。

教育の要となる教員の教育も、専門技術、教授力の両面での強化を図ろうとしている。しかし、まだ教授力の強化が十分でなく、今後さらに教育活動の充実を検討したい。

授業評価として、学生へアンケートを実施することや、各授業の状況把握・評価、アドバイスなど検討していく。

意見：（塩濱）アンケートを取ることはいいことですね。

（分部）CS・ES を上げるためにアンケートは取っていきたい。

【基準 4　教育効果】

退学率については、限度目標を定めてはいるが、目標ありきではなく、退学者を出さないことを目標に、教職員は一人ひとりの学生の日々の育成・指導を行っている。育成の活動はきちんとやる中で、前向きなモチベーションをどう持たせるかが教育の課題であり、そのための教員の指導力向上も図っていく必要がある。また、学校・寮での情報を全員が共有化できる環境を構築するよう努めているが、今後は学校全体の課題として取り組んでいきたい。

数値は下がっているがどのように育成していくか考えている。

退学者の多くは、専門講座の難しさ、反復練習への倦怠感、人間関係の煩わしさなどで最初の目標を見失っている。退学者の減少に向け、担任、学生、保護者間のコミュニケーションを図り低減に努めている。学生個人の育成計画を策定、コミュニケーション時間を増やすことで問題学生の早期発見、ケアを強化する。

意見：特になし

【基準 5　学生支援】

進路・就職に関する支援体制は、全体として整備されている。

クラス担任、教育部が連携し、各ステップで具体的活動の指導や相談にあたっている。

学生の健康面での支援では、近年メンタル面でのサポートの必要性が言われており、当校でもカウンセリングの先生の支援を得て対応している。

クラブ活動などの正規のものがないので、支援できていない。改善委員会でも案件がでているため、クラブ活動については検討していきたい。

同窓会組織を早期で立ち上げられるように打診したい。

学生寮では、寮監が保護者に代わり、手厚い対応を取っている。

意見：（分部）教育費軽減や耐震工事などの案件が多く、手を付けられていなかったが、クラブ活動や同窓会の立ち上げを今年は行っていきたい。

（塩濱）市民大清掃のときに綺麗にしていただいているが、どのように決めているのか。どのように要請したら手伝ってくれているのか。

（松村）町民の方にいつも助けていただいているので、そういったときには学校として手伝っていきたい。

（藤坂）先週の日曜日は川の清掃もあったが、そういうものはお願いしていいのか。

（分部）窓口は事務局でいいのか。

（髙橋）毎年 10 人くらい手伝っている。機会があればこれからもぜひ参加させてください。

（藤坂）同窓会については把握した場合、何期生が行ったかなど HP などでアップすると周知しやすいのではないか。どこかに告知するといいと思う。

【基準６　教育環境】

施設設備は教育上に必要性に鑑み、中期計画、年度計画を通じて、計画的な更新を行っている。また適正に定期・不定期のメンテナンス下に置かれている。

教育の一環として、学外実習・インターンシップのすべてを実施している。しかし一級工学科以外のインターンシップは、公的な内容の縛りがないため、インターンシップ先により内容に差が生じている。学校として必要な作業の実施を相手先企業に要望していく。

防災に対する体制は整備されている。特に実習中の事故防止のための学生指導を怠らないこと。大規模災害に備え、防災訓練を継続的に実施することを重視している。

意見：特になし

【基準７　学生の募集と受け入れ】

学生募集の活動は、学校の情報(資格取得実績、就職実績、経済的なものを含めた学生支援の仕組みなど)をホームページ、高校訪問、オープンキャンパスなどを通じて、できるだけ分かり易く、正確に伝えている。

対象とする学生も、近年の志望校選定の早期化に伴い、高校２年生を中心とした活動にシフトするなど、環境の変化にも対応している。

しかし、結果としての応募状況は、近年厳しいものがある。

背景には、自動車整備士を目指す学生が、減少の一途をたどっていることがある。国交省、メーカーを含め、対応の動きを見せており、当校もこれに呼応して環境の改善にも努めたい。

当校としては日本人学生の減少に伴い、留学生の募集もすすめており、今年度は 14 名の入学となった。

入学選考は、学力試験、面接を基本として、AO、指定校試験などの要件に合わせ、適正かつ公平に行っている。

意見：特になし。

【基準８　財務】

法人最初の財務となったが、昨年度については順調な経営が行われたと思っている。累計の消費収支差額も常にプラスの状態で、その他の財務値を含めても健全な財務状況と評価を受けていたが、施設の老朽化に伴う費用が増加すること、募集競争の激化による費用増、更には入学者減による財務状況は厳しさを増す。したがって一層のコスト効率化に努める。

意見：特になし

【基準９　法令等の遵守】

学校教育法・専修学校設置基準・一種養成施設認定規則等の、該当する法令には準拠しており、適切な運営が図られている。

学生の法令順守という点では、近年社会問題にもなっている車両の違法改造、道交法の順守について一層の啓蒙を図っていく必要がある。

情報セキュリティや個人情報保護については、システム的な保護・教職員への周知の両面で徹底している。しかし、ネット社会の現在では、ＳＮＳ等で校内から容易に情報が流出しやすい環境にあり、学生の啓蒙に力を入れる必要がある。

自己点検、自己評価をこの形で実施して 4 年目となる。自己点検、自己評価の公開については、関係評価も併せて実施し、HP での公開をしたい。

意見：特になし

【基準 10　社会貢献】

地域密着の学校を目指し、ボランティア・清掃活動の参加等、社会貢献には力を入れている。地元企業・関係団体からの要望があれば、保有施設・設備の貸出や、当校で可能な講座の提供行っている。

地域に対する公開講座・教育訓練については将来の課題と考えており、職員に余裕ができた段階で検討したい。

ボランティア活動は、日々の校外清掃を実施している。

意見：特になし

全体質問

（藤坂）募集にあたって留学生募集を行っているとのことだったが、昨年の 2 名の学生は問題ないが、今年入学の生徒でゴミ出しルールを守れていない学生がいる。周辺住民からも苦情があるため、改善してほしい。

良い面もあり、知らない人へも引越しの手伝いをしてくれている留学生もいる。

たばこのポイ捨てもある。せっかくの良い評判があるのにもったいない。

（分部）ヒアリングをかけてフォローを行います。

（藤坂）ここ最近特に不動産会社へ苦情が多く寄せられている。

（分部）生活指導をしっかり行っていきます。人数も増えたし、出身国も増えたので気を付けてみていきたい。

（藤坂）とても優しい留学生が多く、住民の人からも声が上がっている。